

# 経営改善計画の取組について

# 1. 平成24年度経営改善計画達成状況

(単位:百万円)

	計画値(A)	実績(B)	計画達成状況	
			B-A	B/A(%)
輸送人員(人/日)	95,300	87,900	▲7,400	92.2
運輸収入	7,270	6,651	▲619	91.5
運輸雑収	1,775	1,726	▲49	97.2
人件費	1,702	1,605	△97	94.3
経費	2,948	3,404	456	115.5
営業損益	▲965	▲1,649	▲684	29.1
経常損益	▲3,816	▲3,595	221	105.8
当期損益	▲3,821	▲3,606	215	105.6

## 2. 取組状況

### (1) 増客増収

#### ■ 輸送人員の増加

	22年度	23年度	24年度	
数値目標	86,700人/日	90,200人/日	95,300人/日	➔
実績	85,100人/日	84,700人/日	87,900人/日	
				31年度
				131,000人/日
				—

## PR活動・ 営業活動 の強化

### 安全・安心への取組

- 教育訓練の実施  
→ 消防訓練、列車停止手配訓練など

### 運賃の多様化

- SR東京メトロパスの発売【通年】  
→ 発売枚数35,173枚 運輸収入2,016万円
- 一日乗車券の発売  
→ 発売枚数3,273枚 運輸収入203万円
- しらこぼと往復割引セット乗車券の発売【夏季期間】  
→ 発売枚数4,033枚 運輸収入188万円
- (新) 新川口市誕生一周年記念乗車券  
→ 発売枚数3,641枚 運輸収入71万円

# 駅ポテンシャルを最大限に活用

## イベントの開催・開発

- 沿線ハイキングの開催【4回】
  - 合計参加者2,780人
- ⑨ お客様ご乗車3億人キャンペーン
  - ゆるキャラ電車、絵画展の開催など
- 車両基地見学会の開催
  - 参加者2,666人

## 駅の賑わいづくり

- 鯉のぼり・七夕・クリスマスツリーの飾りつけ
  - 全7駅
- ⑨ お客様ご乗車3億人ヘッドマーク電車の運行
  - 3種類
- ⑨ 日光御成道の歴史ポスター掲出
  - 10月22日～11月11日 全7駅

## 物産展・フリーマーケット等による賑わいづくり

- 川口市賑わいづくり実行委員会による鳩ヶ谷駅での地元物産品の販売に協力
  - 10月6日～11月18日の土日祝（15日間）

## 沿線施設との 連携の強化

### その他沿線施設との連携・強化

- ⑨ 植木・盆栽の里安行からのお知らせボード設置  
→ 全7駅【管理者(公財)川口緑化センター】
- SKIPシティ国際Dシネマ映画祭のPR協力  
→ 駅構内ポスター、車内中つり

## 利用者 サービスの 向上

### 接客サービスの改善

- ⑨ 英会話講習の受講  
→ 7名

### バス事業者等との連携

- ⑨ 木下大サーカス埼玉公演に合わせシャトルバス運行  
→ 9月15日～11月18日(53日間)

### 列車増発

- ⑨ 日光御成道まつり開催に伴う臨時列車の運行
- ダイヤ改正  
→ 3月16日 平日朝・夜間帯の列車の増発

## ■ 運輸雑収の増加

	22年度	23年度	24年度	
数値目標	100% (1,745百万円)	100.9% (1,760百万円)	101.7% (1,775百万円)	➔
実績	97.1% (1,695百万円)	93.3% (1,642百万円)	97.2% (1,726百万円)	
				31年度
				112% (1,956百万円)
				—

## オリジナル グッズ販売

### 浦和レッズ等と連携したオリジナルグッズの企画・販売の強化

- レッズコバトンシリーズ  
→ 2012ユニフォームスタンダード、ミニ、ミニミニ、コバトンクリップス、レディアコバトンセット
- (新) サンリオコラボグッズ  
→ 制服ハローキティ、制服マイメロディ
- (新) 販路拡充  
→ 鉄道博物館、川口観光物産協会

## 広告収入 の増加

### 営業活動の強化

- しらこぼと水上公園 **電飾**広告
- ユニクロ浦和美園店フロア広告壁面広告

## (2) 経費削減

### ■ 組織体制の見直し、人件費の削減

(凡例)  
 ① 正社員数  
 ② 出向社員比率  
 ③ プロパー社員比率  
 ④ 運輸収入に対する人件費の比率

	22年度	23年度	24年度
数値目標	① 242人 ② 9.2% ③ 75.9% ④ 26.0%	—	—
実績	① 239人 ② 6.0% ③ 76.1% ④ 24.9%	① 235人 ② 3.4% ③ 77.9% ④ 24.8%	① 235人 ② 2.6% ③ 79.6% ④ 24.1%



31年度
① 240人 ② 0.0% ③ 85.0% ④ 16.3%
—

**本社管理部門の見直し**

本社管理部門の業務体系を継続的に見直し効率的かつ機動的な組織の確立

- 業務の効率化のため組織を改正  
→ 5部体制を 4部

**人件費の削減**

計画初年度から28年度までの7年間で総額2億円の削減

- 社員のプロパー化の推進  
→ 出向社員 2名減(前期末比)

## ■経費の削減

	22年度	23年度	24年度		31年度
数値目標	100% (2,948百万円)	100% (2,948百万円)	100% (2,948百万円)	➔	103% (3,034百万円)
実績	104.0% (3,067百万円)	103.8% (3,060百万円)	115.5% (3,404百万円)		—

備品、消耗品の購入費用の抑制や適正な管理

備品、消耗品の購入方法の工夫や効果的な発注ロットによるコスト削減に努めるとともに、適正な使用、管理の実施

- 事務消耗品等の一括購入(コピー用紙, インクカートリッジなど)
- 事務消耗品等の在庫管理

契約の見直し

保守管理業務等の精査

- (新) 彩モール運営システム契約先の変更

損害保険等の見直し

- 火災保険の見直し

### 3. 平成25年度の取組(主なもの)

各事業について、効果・効率的なものは引き続き継続するとともに、以下の事業に取組むものとする。

#### (1) 増客増収

- ホームページの刷新による情報発信の強化
- 浦和美園・岩槻地域間成長発展事業との連携
- 沿線開発促進への協力
- 駅構内への新規店舗の誘致

#### (2) 経費削減

- プロパー化の推進
- 駅務機器の適正配置及び導入コスト、保守費用の抑制